

みなとの施設 Port

Ports-
gateway
to the world

みなとに 欠かせない “脇役”たち

船の安全な航行をサポートすることも、みなとの大切な役割です。そのため、岸壁や棧橋付近には、船の安全を守るさまざまな設備が整っています。

たとえば、みなとに足を運んだときによく見る信号所やブイなどの設備は、船に港湾内の状況を知らせる役割がありますし、岸壁に取り付けられた係船柱や防げん材などは、船を安全に固定するための設備です。

また、みなとの設備は海の中にもあります。船の通り道である航路は、船が安全に航行できるよう十分な水深を確保してあります。

普段はとくに目立ちませんが、これらの設備はみなとに必要不可欠なものです。



信号所

海上の船にさまざまな信号を送る設備です。海上の船はこの信号を利用してしながらみなとに出入りしています。



浮標

海の標識、いわゆるブイです。暗礁の所在や航路・錨地などを知らせる航路標識用と、船をつなぎとめる係船用があります。(写真は航路標識用) 形や色などの違いによって異なる情報を船に伝えます。

航路

船が安全に航行できるように整備された海の道路です。右側通行、追い越し禁止など、船は港則法というルールにしたがって航行しています。



灯台

みなとの入口や岬などに設けられる航路標識の一つです。灯火の標識を出して船に位置を知らせたり、航路を指示したりしています。



防げん材

岸壁と船の間に挟まり、接岸時に船の衝撃をやわらげる設備です。大きいものでは一辺が2m近いものもあります。



車止め

トラ模様の車止めは、駐車場などにあるものと同じく、ふ頭内の自動車が誤って海面に落下しないように設置されています。

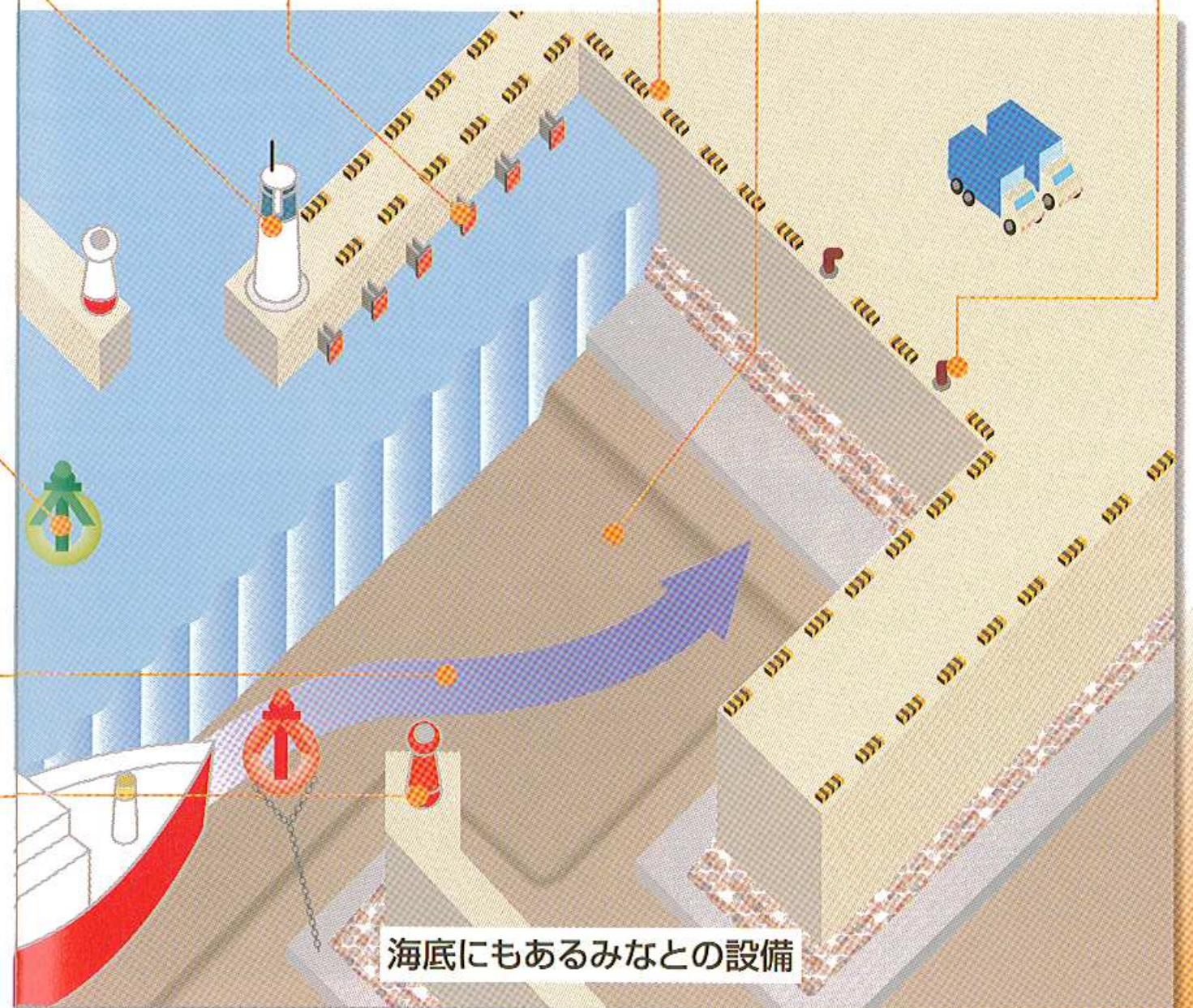


係船柱

昔の映画では、船員さんが片足を乗せている姿が有名ですが、いうまでもなくただの足置きではありません。ロープを使って船舶を岸壁につなぎ止めるためのものです。

泊地

船が安全に停泊できる海面を表わします。泊地は十分な水深と、広くて静かな水面が必要とされます。



海底にもあるみなとの設備